

1. 今日は、バプテスマのヨハネさんについてお話ししましょう。
ヨハネさんは、イエス様が登場するちょっと前から活躍していた人です。
2. ヨハネさんは、みんなが楽しい遊びをしているような町の中には住まないで、荒野に住んでいました。
そういう静かな場所で、神様にお祈りして、神様のお役に立つようにと頑張っていたんですね。
3. そして多くの人たちに、バプテスマ、つまり洗礼を授けていたんです。だからヨハネさんは、バプテスマのヨハネって呼ばれているんだよ。
この絵のように、次々と人々がヨハネさんのもとに訪れ、自分の罪を悔い改めて、洗礼を受けました。
4. ところがそんな人たちにまざって、パリサイ人^{びと}やサドカイ人^{びと}という人たちもいたんです。この人たちは、真面目に神様を信じて、罪を悔い改めて、素直な心で洗礼を受けたいと願っていたわけじゃありません。
人々の関心をかおうとして、汚い心のままで、興味本位でヨハネさんのところへ来ただけだったのです。
5. だからヨハネさんはこの人たちに向かって、「mamshの子！」と言いました。
ところで「mamshの子」って、どういう意味だろうね？
6. mamshって、ちょっとずるがしこいイメージがあるよね。そう、そんな意味なんだ。本当はすごく汚い心を持っているのに、「私はとっても美しい心を持っていますよ」なんて顔をしている人たちのことを、「mamshの子」って呼んだんだね。
7. イエス様は、こうおっしゃいました。

「光の子どもとなるために、光を信じなさい。」ヨハネ 12:36

これは、「神様の子供になるために、神様を信じなさい」っていう意味だね。

8. mamshの子と光の子・・・ずいぶん違うねえ。どっちが強いと思う？ mamshかな？ 光かな？
9. そう、光の方が強いよね！
何でかわかる？ mamshはさ、光を見ると、「うわ～、まむしい～（まぶしい）」ってなっちゃうんだよ・・・
なんちゃって、それはじょうだんとして・・・
mamshのような悪い力は、神様の聖い光の力には、絶対に勝つことは出来ないんだね。
10. もう一つの聖書のことばを紹介しましょう。

「光の子どもらしく歩みなさい。」エペソ 5：8

私たちはこれからも光の子供らしく、神様の光の中を歩み続けましょう。 おしまい。